

NCCU NEWS

大阪支部のみなさんへ

大阪支部 第 195 号

2025 年 6 月 30 日発行

UA ゼンセン日本介護クラフトユニオン

発行人 大阪支部長 上村 雅彰

編集人 近畿総支部常任 土橋 康弘

連絡先 090-5765-6007

ケアマネの声を府議会・市議会に届けよう！

タウンミーティング【ケアマネ編】

NCCU 大阪支部では、主任ケアマネジャー・ケアマネジャーを対象とした「NCCU タウンミーティング」を 6/21（土）に開催しました。

みなさんが抱えているケアマネジャーの問題や課題について話し合いましたので、情報共有の為に、組合員の皆さまに報告します。

テーマ①「ケアマネ更新研修について」

- ・時間とお金、労力（課題準備）の負担が大きい。
費用面では、会社負担をしている事業所が多いが、課題の事前準備をする時間を勤務中に行えない事業所もある。
- ・研修の内容が、業務では活かされない。大阪では OCR シートの活用研修などあるが、実際の業務では使われていない。
- ・ケアマネは専門職であり、事業所によっては OJT を受ける事が出来ない人員配置となっているところもあるので、**更新研修などでは出来るだけ実務に沿った形での研修をして欲しい。**
- ・更新研修のグループワークでも、現在ケアマネ業務に従事している人や、更新のみの為に研修を受けている人など様々であり、有意義なグループワークとなっていないこともある。
それぞれの現状の業務に合わせたグループ作りを行った方が、お互いに有意義なグループワーク（研修）になると思われる。

テーマ②「事務作業の多さについて」

- ・チャット GPT やオープン AI などの DX 機器を活用することで、支援経過や議事録の作成がスムーズになっており、10 年前に比べると事務作業自体は減少したと思われます。ただ、事業所での活用に関する温度差はあり、また費用面での問題がある。

- ・事務作業というよりも、ケアマネ業務外（シャドーワーク）が多く、対面業務なので、DX 機器では対応出来ない。
- ・新規の加算が多く、根拠資料ばかり増えていく。しかも単位数が小さいので売上に貢献出来ていない。加算方式ではなく、減算方式の方が良い。

テーマ③「その他(フリートーク)」

- ・最近夕方になると、新規ケアマネ研修の依頼連絡が多数ある。主任ケアマネ研修の一部免除の項目になっているので、出来るだけ対応したいと思っているが、今年は特に多い気がする。
ケアマネ資格合格者にとって、「現場実習依頼」を個人で依頼することはハードルが高いような気がする。現場研修自体はケアマネジャーになるうえで、必要なことではあるが、依頼連絡をする労力は必要ではない。ケアマネの成り手が減少している現状では、出来るだけ不必要な労力は減らすべきだ。

【総評】

NCCU NEWS やホームページで「ケアマネ諸課題検討会」の報告を行っているように、法定研修の在り方に関して「更新という仕組みを前提にするべきではない」と指摘しておりますが、現状すぐに改善される訳ではありません。今回のタウンミーティングで挙げた「研修内容について」「グループワークの在り方」について、改善の必要性を伝えていかななくてはならないと思います。

また、ケアマネ業務外(シャドーワーク)についても、現状を国や地方自治体に伝え、代替案(インフォーマルサービスでの対応)だけでは解決出来ないことや、新しくケアマネジャーを目指す人にとって、障害となっている仕組みについても、改善の必要性を伝えていかななくてはならないと思います。

今回のタウンミーティングでは、すぐに府議会・市議会に要請するという内容ではなく、国やケアマネ協会に対する要請する内容であった為、NCCU 全体で情報共有を行い、様々な会議の場で発信して参ります。

また、今回のタウンミーティング(ケアマネ限定)を実施したことにより、「課題の抽出」「情報交換」の場としての必要性を感じており、今後も定期的な開催を行いたいと思っております。